

令和7年度 仙台市宮城野障害者福祉センター在宅障害者・一般市民向け事業

「犯罪のないみやぎ安全・安心まちづくり～おうちの防犯対策などについて」を開催しました

令和7年7月29日

仙台市宮城野障害者福祉センター

令和7年7月26日（土）に、「おうちの防犯対策などについて」を開催しました。

講師に、宮城県環境生活部共同参画社会推進課安全・安心まちづくり推進班の高澤勝也氏をお招きしました。講義には障害当事者10名を含む19名の方に参加をいただきました。防犯に関する資料を配布し、実際の被害事例などのお話をスライドと共に紹介しながら注意喚起を行いました。

特殊詐欺の手口は年々多様化・増加しており、被害者に電話をかけ対面せず信頼を得て、指定した預貯金口座へ振込ませる等様々な方法により、不特定多数の者から現金等をだまし取る犯罪が発生しています。また、特殊詐欺に加担してしまう場合もあるとのことでした。

オレオレ詐欺の事例では、音声を基に若林警察署の刑事を名乗る人物から被害者に電話が入り母親が対応したが、娘さんが対応を替わり、警察署に電話で刑事がいるかどうか確認すると伝えたところ電話が切れました。講師からは「本当に警察署にその人物がいるか確認することが大切です」との説明があり、犯罪を防ぐための具体的な対策が紹介されました。

また、若い世代が被害に遭うオレオレ詐欺なども増えていて、「警察官を名乗る者から電話がきた」や「トークアプリに誘導」、「銀行口座のお金を移させて騙し取る」などの手口が発生しています。犯罪に巻き込まれないようにするためには、電話でお金の話が出たら、一度電話を切って家族や周囲に相談するなど冷静な対応を心がけてほしいと呼びかけました。参加者の皆様から「大変分かりやすかった」「大変勉強になりました」「若者の被害も多いので、子供にも話して伝えたい」などの意見も寄せられました。

特殊詐欺の被害は後を絶たず、被害者・被害額は年々増加していることから、引き続き防犯に関する講義を開催していきたいと思います。

